



日本国際薬膳師会

<http://yakuzenshi.jp/>

| | | |
|----|--------------------------------------|----------------------------|
| 目次 | 「戊戌年、15周年に向かい」…… 1 | 交流部報告/学術部報告…… 5 |
| | 脾胃腸の機能を整える薬膳①…… 2 | 会員の活動紹介/ミニコラム…… 6 |
| | 「鬱証」の中医弁証論治④最終回…… 3 | 会員の声…… 7 |
| | 2017年度設立記念特別講演会 『生薬と食べ物アレルギー』…… 4 | 各部報告/15周年記念事業 /編集後記…… 8 |

戊戌の年、15周年に向かい



日本国際薬膳師会会長 辰巳 洋

2月16日金曜日は旧暦の春節となります。中国だけではなく、アジアの多くの国も春節をお祝いして楽しく過ごします。特にこの近年、アメリカの大統領、イギリス首相も春節の日に中国へ、華僑・華人に「春節祝辞」を送ります。新年と違い、春節は新しい一年のスタートです。家族の幸福・快樂・健康や事業の成功など美好な願望を祈念してお互いに祝福の言葉を送ります。

ここで、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は公私にわたり格別のご支援をたまりまして深く感謝申し上げます。

日本国際薬膳師会は今年で設立15周年を迎えます。2004年の発足当時から振り返ってみますと、国際薬膳師の資格を取得した方たちのうち46名によって会を立ち上げました。15年目の現在は430名の会員が在籍しています。各部がいろいろな計画を立てて、会員の皆さんの薬膳知識のレベルアップ、中医薬膳学情報の提供と交換、会員の互いの交流など、会の発展に力を注ぐ努力で私たちの会は中国薬膳研究会(中国政府・国家中医薬管理局直轄。中国國務院・科学技術部の委託する一流学会)が認定する国際薬膳師などの有資格者の専門学会として大きくなり、しっかりと発展しつつあることを大変うれしく思います。

2018年は干支からいうと「狗年」となります。狗の起源はいくつかの説がありますが有力な説はオオカミから進化した説です。人間との長い共存生活の中で、犬は様々な変



会長の愛犬

なんなんび、にゅにゅ♀

化を遂げて、人間と最も親しい動物になっています。

日本では上野英三郎博士とハチ公の悲しいストーリーがあります。中国では『黄耳伝書』の物語があります。魏晉時代(220~420年)「黄耳」という狗がいました。飼い主は都会で仕事をし、長い間、故郷から手紙が来なかつたので心配になり、早く母親のことを知りたくて、飼い主が「黄耳」に声をかけました。「千里以上の母親の所に手紙を送れる?」「黄耳」が尻尾を振って喜んで受け取りました。「黄耳」は首に手紙の入った竹筒をかけて日夜兼程で(中国語で、昼夜ぶつ通して行程を急ぐの意)行きました。50日後、「黄耳」が母親の返事を持って帰ってきましたが飢餓と疲れで亡くなりました。この伝説から『黄耳伝書』の熟語が誕生しました。「忠誠」「忠実」「平安」などの言葉は狗の象徴となり、人類の最も信用できる仲間とされています。

2018年は戊戌(つちのえ・いぬ)の年です。戌に象徴される今年の「平安」を祈って、本会の15周年という記念すべき大きな節目を迎えたいと思います。私たちの会の最高顧問である中国薬膳研究会副会長、北京中医药大学の元学長の高思華教授、東北大学の関隆志教授を迎え、盛大な記念行事、記念誌の発行を計画しています。会員の皆様も一丸となって、記念行事の成功、会のさらなる発展、会員の皆様の大活躍に期待をしております。

どうぞ、本年も相変わらずご支援とご協力のほどお願い申し上げます。

平成三十年度日本国際薬膳師会通常総会のご案内

日時…五月十九日(土)午後一時半より
場所…品川区きゅりあん5階第2講習室
特別講演…日中医学研究所学術部部長、
日本中医学院(旧北京中医药大学

日本校)講師、中醫師 吳晨輝先生
演題『臟腑弁証と薬膳』

各部報告・お知らせ

▲総務部:

- 平成 30 年度日本国際薬膳師会通常総会開催。総会資料は 4 月中旬に郵送致します。
日時: 5 月 19 日 (土) 午後 1 時 30 分~4 時 会場: 品川区立総合区民会館きゅりあん 5 階第 2 講習室
- 会費納入のお願い。2017 年度会費未納の方は、2018 年度会費とともに 2 年分 6000 円をお願い致します。
ゆうちょ銀行払込手続き済みの方は 2018 年度分は 3 月 26 日に引き落としとなります。
三菱東京 UFJ 銀行 神田駅前支店 普通預金 口座番号 2189884 名義 日本国際薬膳師会 辰巳 洋
- 住所や名前の変更は、速やかに事務局までお知らせください。(変更された方をご存じでしたらお知らせください。) 連絡先: 事務局 FAX 03-3662-3800 ホームページからも可能です。

▲学術部: 平成 29 年度の 6 回の研修会には、延べ 170 名参加いただきました。

平成 30 年度も会員の皆さま方に役に立つ、また楽しい研修会を計画しています。

- ・「料理写真の撮り方Ⅱ」 五海 ゆうじ先生 6 月 21 日(木)
- ・「ステップアップ研修Ⅶ《症例研究》」 菅沼 栄先生 7 月 13 日(金) 9 月 14 日(金) 10 月 12 日(金)
- ・「薬膳茶Ⅱ 実証編」 辰巳 洋先生 平成 31 年 1 月または 2 月予定



▲事業部:

- 日本国際薬膳師会作成のリーフレット等の販売をしています。購入希望の方は申込用紙に必要事項記入の上、各申し込み先へ FAX 下さい。申込品により FAX 番号が違いますので送信前によくご確認ください。
入金確認後発送します。 ①『薬膳の基礎・早見シート』(1 セット 800 円)
②『体質判断&食材早見表』(1 部 300 円) ③平成 28 年度学術部主催研修会レジメ (1 部 1000 円)
問い合わせ及び申し込み先 ①②は FAX 045-844-9530 ③は FAX 03-3659-5119
入金先: ・ゆうちょ銀行以外 ゆうちょ銀行ゼロイチハチ店 普通 9888805 日本国際薬膳師会
・ゆうちょ銀行から 10110-98888051 日本国際薬膳師会



▲交流部: 中国薬膳研究会 第三次全国会員代表大会 (北京) 1 月 21~22 日 辰巳会長出席

国際薬膳師(士)合格証書授与式(北京)並びに中国研修旅行(江西中医薬大学: 南昌市)5 月 24~30 日予定

▲IT 部: 『今月の薬膳』では二十四節気の特徴と身体の特徴を併せた「おすすめ薬膳」を発信しています。

一度はレシピ投稿に挑戦してみませんか? 認定部からアドバイスがいただけるので勉強になります。手の込んだものや手に入らない中薬や食材ではなく、立法にあったレシピをお待ちしています。ホームページに「フォーマット」と作成要項を掲載中。レシピ作成者やお教室名を掲載できます。右記 E-mail に投稿のご連絡をお待ちしています。E-mail: itech@yakuzenshi.jp

▲広報部: 会報「くこ」46 号 (4 月 1 日) 発行、47 号 (8 月 1 日) 発行予定

設立 15 周年記念事業のお知らせ

設立 15 周年記念特別講演会開催

設立 15 周年記念特別講演会を 11 月 24 日(土) 13 時から学士会館にて、『日中の名医が語る～人生 100 年 今こそ薬膳養生』をテーマに特別講演会を開催します。

今回は元北京中医薬大学学長であり、中国薬膳研究会の副会長でもいらっしゃる高思華先生に基調講演をお願いしています。

また、日本側の代表として東北大学内科にて鍼灸・漢方の診療を行いながら多くの大学の先生方と共同研究を行っておられる東北大学 CYRIC サイクロトン核医学研究部研究教授の関隆志先生に特別講演をお願いしております。

人生 100 年時代を迎えてのこれからの薬膳について皆様のお役に立てる貴重なお話がうかがえるまたとない機会になります。

ぜひ、特別講演会にご参加ください。

設立 15 周年記念誌発行

論文、エッセイ、薬膳メニューを募集します

今年、日本国際薬膳師会は設立 15 周年を迎え、15 周年記念誌を発行します。

記念誌には会員の皆さまからの論文やエッセイ、活動事例、薬膳料理集などを掲載する予定です。論文は中医学、中医薬膳に関わるテーマで研究論文を募集します。エッセイでは薬膳についての想いや国際薬膳師としての活動の中で感じたことやエピソード、未来への提言など薬膳に関する作品をお寄せください。薬膳メニューについては「五臓の臓腑弁証」の各証に合わせた薬膳メニューを募集しています。

論文、エッセイ、薬膳メニューにぜひご応募ください。詳しくは 3 月に送付しました別紙やホームページの募集要項をご覧ください。

編集後記

本年は新たな学びのため退部された部員、広報部へチャレンジ! の新部員とメンバーが少し変わります。広報誌としての役割を会員の皆さまと共に模索し 15 周年の節目を超えたいと考えています。部員は仕事を抱えながらの編集作業でメールは真夜中に飛び交います。皆さん! 満開の桜から心新たに作る元気をいただきましょう!!

N. S.